



石橋 創 様

44人目

石橋創氏、市民後見人受任

市民後見人になって

半生を振り返る

石橋 創

市民貢献人

会報

苫小牧市後見支援員等連絡会
発行人：三河敏規
☎38-7291
FAX38-7292

私は大分県佐伯市に生まれ、11月で53歳になりました。高校生の頃は、地質学者になりたいという夢がありました。

当時、映画「インディーズ」が流行っていましたから。

それで、地質学科のある大学を目指します。でも、結果は福島県の日大工学部土木工学科に入学。

その流れで卒業後、札幌市の上下水道の設計会社に入社し、大分、福島、北海道と北上してきました。

35歳の頃、苫小牧市役所に転職し、苫小牧市での生活が始まります。市役所内での異動は財政部、都市建設部を経て、福祉部でした。福祉部では10年間、対人援助など色々な経験をさせていただきました。

そんな私ですが、この度ご縁があつて市民後見人になりました。同世代の被後見人さんですが、本人らしい生活、本人らしい変化を支える後見人になりたいと思います。寄り添うとか、後見するとか・・・私が感

じる福祉って、相手を知ることだなんて思います。知ることでも相手が入ってくるんですね。でも、受け入れる自分は、変化させ続ける必要があると思います。そのためには、やはり傾聴なんでしょうか。

今度、映画好きな彼(被後見人)とインディーズの話をしてみようと思います。





第16期生

市民後見人養成研修修了

好評だった初の夜間開催

令和5年11月24日(金)

市民後見人養成講座の修了式が行われました。

今回の市民後見人養成講座は、初の試みとして夜間開催となりました。

これまででは休日・平日開催でいずれも日中時間帯の開催で、開講日数は延べ5日間です。

今回の夜間開催は、10月13日から延べ11日間、(日中及び夜間とも別途4時間実習有)と開講期間は長期に及びました。それにも係わらず当初の参加人数20名中18名修了、2名は次回に継続中。

修了生の多くは、職業をお持ちの方で、平均年齢も大幅に若返りました。

このようなことから、今後も、日中開催に加え、夜間開催が継続されそうです。

修了式では、渡邊敏明 苫小牧市社会福祉協議会会長から各人に祝意を添えて修了証書が交付されました。

修了生18名は数えて第16期生となります。

今後は、法人後見の後見支援員として、概ね1年の実務研修に移行し、市民後見人として個人受任を目指します。

各位のご健勝をご祈念申し上げます。